

おわりに

ME 養成講座に講義については、講義日数 12 日間の関係から橋梁を中心に行ってきた。当初、全体的な講義テキストの作成を試みていたが、維持管理すべき対象構造物を同程度の内容で一つのテキストに盛り込むのは困難である。そのため今年度は内容を概括的に知っていただくため講座の要約版を作成した。今後は、橋梁、トンネルといった対象毎の専門別にテキストを作成するのが良いと考える。ただ、アセットマネジメントは省くことはできず、対象毎にテキストを作る場合も共通の概念としてテキストに盛り込むことが必要である。

今後の方策としては、維持管理すべき各対象物について単独で著し、しかる後、愛媛版で全体を網羅する、あるいは年度毎講座の「社会メンテナンス養成講座テキスト」を作成しながら内容を整える必要がある。さらに、地域に見合った現場の事例集の作成も行う必要がある。このことによって、ME 養成講座を受講した方々を含め、現場事例集を手にした方々が、それぞれの後輩、あるいは同僚、あるいは先輩技術者と現地討論ができる場となれば、有意義なものとする。

講座を開くにあたり、5 大学コンソーシアム（岐阜大学、長崎大学、長岡技術科学大学、山口大学、愛媛大学）、とりわけ岐阜大学の先生方には運営の方法を含め強力な支援をいただいた。ME 養成講座の現場選定に際しては、国土交通省四国地方整備局、同松山河川国道事務所、愛媛県土木部の方々と並びに関係者の方々に大変お世話になった。とくに、トンネルのフィールドワークでは、四国地方整備局の支援により、実際の点検作業と同様の環境のもとで講座を進めることができた。ここに深く感謝する。

<ご協力いただいた講師の方々：あいうえお順、敬称略>

- ・伊東 賢：新日本技研株式会社
- ・上田隆雄：徳島大学大学院
- ・右城 猛：株式会社第一コンサルタンツ
- ・氏家 勲：愛媛大学大学院理工学研究科
- ・渦岡良介：徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部
- ・太田裕之：応用地質株式会社エンジニアリング本部
- ・岡田博文：愛媛県土木部管理局土木管理課技術企画室
- ・奥田雅之：岐阜県土木整備部道路維持課
- ・貝戸清之：大阪大学大学院工学研究科
- ・紙田直充：西日本高速道路株式会社四国支社建設事業部
- ・川上清：松山市下水道部
- ・熊田素子：岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター
- ・倉内文孝：岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター
- ・小林大：大日本コンサルタント株式会社インフラ技術研究所保全エンジニアリング研究室
- ・白石昌史：愛媛県土木部道路都市局道路維持課

- ・ 須賀幸一：株式会社芙蓉コンサルタント
- ・ 杉浦聡志：岐阜大学工学部社会基盤工学科
- ・ 杉原直樹：国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部
- ・ 竹田正彦：愛媛大学防災情報研究センター
- ・ 玉田和也：舞鶴工業高等専門学校建設システム工学科
- ・ 全 邦釘：愛媛大学大学院理工学研究科
- ・ 辻慎一郎：前田工織株式会社
- ・ 鳥居謙一：国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部
- ・ 長谷川修一：香川大学工学部
- ・ 原 隆史：岐阜大学工学部社会基盤工学科
- ・ 廣田清治：愛媛大学防災情報研究センター
- ・ 二神 透：愛媛大学防災情報研究センター
- ・ 星隈順一：国立研究開発法人土木研究所構造物メンテナンス研究センター
- ・ 牧野 徹：大日コンサルタント株式会社保全部
- ・ 増屋征訓：株式会社 NJS
- ・ 松島 学：香川大学工学部安全システム建設工学科
- ・ 宮本 馨：国土交通省四国整備局道路部道路保全企画官
- ・ 村上茂之：岐阜大学総合情報メディアセンター兼工学部附属インフラマネジメント技術研究センター
- ・ 森伸一郎：愛媛大学大学院理工学研究科
- ・ 八木孝志：株式会社 N J S
- ・ 八嶋 厚：岐阜大学
- ・ 山下祐一：愛媛大学防災情報研究センター